



特集 社会的弱者を支える

02-03

若者を社会で見守る
NPO法人もりおかユースポート
障がい者の自立への手助け
NPO法人イーハトーヴとりもと

CSR紹介

04-05

「地域へ安心をお届け」ヤマト運輸株式会社

Information

06-07

県からのお知らせ

岩手県社会福祉協議会からのお知らせ

NPO活動交流センター からのお知らせ

08

【表紙のご紹介】

地域のお宝発見ウォーキング

盛岡市永井地区で、まち歩きを行い地域の交流を深めながら、その地域にあるお宝を見つけるイベントが行われました。この日は子供たちが、生き物や昔ながらの建物・風景を見て大はしゃぎ!今後は見つけたお宝を地図として作成するそうです。

特集 社会的弱者を支える

NPO法人 もりおかユースポート

平成24年設立。ニートと呼ばれる若年無業者やひきこもりなど、自立や就業に困難を抱える若者たち、またその家族を支えるために相談事業や自立支援事業を行うことで社会の活性化に寄与することを目的としています。事務局長の加藤さんにお話をうかがいました。



みんなで地域をキレイにしています

盛岡の若者支援を厚いものに

私たち「NPO法人 もりおかユースポート」は社会に船出するための支援と航海の傷と疲れをケアする若者の港になりたいというイメージから「若者の港」＝「ユースポート」と名付けました。活動を始めた頃の若者支援機関の多くは昼間は開所しているのですが、夜間も対応するということはありませんでした。しかし、昼間は活動せず夜間は活動するという若者もいます。そういう若者にも対応していくことで、我々は盛岡の若者支援もスキマなく厚いものにしたいと考えています。

小さな一歩は大きな一歩

ひきこもりの若者は本当のところ「このままじゃいけない。」「なんとかしたい。」と考えているんですよ。だけど、何をしたいかがわからないし、今まで人と話すことも少なかったため、すぐに就労というのは難しいです。ただ、せっかく外に出てくれたのだから、ユースポートという居場所でボランティア経験やスポーツ、またみんなとの会話を楽しんでもらえたらと思います。

社会で若者を育てる

若者は、社会のイメージで言うと「支援する側」という認識なんですよ。しかし、知識や経験の無い若者は、何かの理由で社会からはみ出してしまうと、すぐに支援される側になってしまいます。ひきこもり支援をしている方たちの中では、ひきこもっている若者たちは「育ち直し」をしていると言います。私たちは社会みんなで、この「育ち直し」している若者の手助けをしていく必要があると訴えていきたいです。



悪戦苦闘しながらもがんばります

NPO法人 もりおかユースポート

住所：岩手県盛岡市茶畑1丁目5-19

TEL：019-601-4561

E-mail：mail@my-port.jp

URL：http://my-port.jp/index.html

もりおか若者サポートステーション(受託事業)

住所：岩手県盛岡市盛岡駅前通16-15 保科済生堂ビル4階

TEL・FAX:019-625-8460

URL：http://morisapo.com

Facebook：http://facebook.com/morisapo

NPO法人 イーハトーブとりもと

平成24年設立。宮古市ならびに近隣市町村に住んでいるあらゆる障害をもった本人及び家族に対して、障害のある人もない人もともに支え合う共生の街づくりを目指す活動を通じ、宮古圏域福祉の発展に寄与することを目的としています。代表の小幡さんにお話をうかがいました。



真剣に調理しています

努力する姿を見た

35年ほど前に私は、東京から宮古に引っ越してきて、焼き鳥屋「とりもと」を始めました。少しずつ忙しくなっていくなかで、障がい者施設の園長さんが常連になりました。その当時、施設の子供たちは義務教育が終わると卒園しなければなりませんが、受け入れ先がない子供たちがいました。焼き鳥の仕込み作業をやってもらおうと、その子たちを雇用したのですが、当初、肉やネギを串に刺すことも上手くできなかったんですよ。けれどコツコツと1年かけてできるようになりました。その時に努力する若者や障がい者に働く場を提供することが大人の仕事なんだと思い、そこから障がい者雇用が始まりました。

広がっていく活動

その後、カレーを取り扱う「カレー亭」の開業やレトルトカレーの製作・販売も行うようになりました。さらにカレーに使う玉ねぎやにんにくも作ろうと農業も始めました。今年は玉ねぎを3万5千本を植えようと計画しています。この話をしますと、皆さん「素晴らしい6次産業化のモデルだ!」と言われますけど自分自身としてはそんな意識は全くありませんでした。(笑)また震災をきっかけに「就労継続支援A型事業所」という福祉団体に認めていただきました。そうすることで、私や妻がいなくなっても彼らが働く場所を維持できる組織に変わりました。

カッコいい大人を見せる

以前から機会がある毎に博物館やイタリアンのお店など色々なところに連れていくようにしています。そういう経験を刺激に成長してほしいと思います。けれど雇用している彼らに「休みの日は何してたの?」って聞くと「ショッピングセンターにいました。」と答えられたんですよ。買い物ではなくただ時間を潰すことを目的にしていたので、それはあまりにももったいないと思いますが、仕事をする事はもちろん、遊ぶ事にもエネルギーと知的な能力が必要なことを痛感させられる場面です。彼らが成長し社会人として生活するために仕事をするときはしっかり働く、遊ぶときはしっかり遊んでみせるという「カッコいい大人の背中」をみせることが大事だと考えています。

そしてこれからも「イーハトーブとりもと」はカッコいい大人を見せながら、みなさんに岩手で作った美味しい商品を提供していきますので、ぜひ「カレー亭」と「鳥もと」また「レトルトカレー」もよろしくお願いします。



イーハトーブとりもと全員集合♪

NPO法人 イーハトーブとりもと

鳥もと

住所：〒027-0083 岩手県宮古市大通2丁目6-12

TEL・FAX：0193-63-6776

カレー亭

住所：〒027-0024 宮古市磯鶏1丁目4-6

TEL・FAX：0193-64-5484

URL：http://torimoto.at.webry.info/

ヤマト運輸株式会社 地域へ安心をお届け

ヤマト運輸（株）の松本課長にお話を伺いました。



ヤマト運輸（株）岩手主管支店 松本まゆみ 営業企画課長

ヤマト運輸の仕事とは？

私が、盛岡駅前センターのセンター長だった2008年。顔なじみの一人暮らしをしていたおばあちゃんに、荷物を届けた3日後、自宅で亡くなっていたのが発見されました。そのとき「私たちの仕事は荷物を届けハンコをもらって終わりなのだろうか？他にやるべきことがあるのではないかな？」ということを悶々と考えていました。そうしたなかで地域を見守る事業を行いたいと考えようになり、最初は岩手県立大学や岩手県社会福祉協議会と連携して、メール便を使った安否確認をテスト的に行うようになりました。そこから色々な出会いを経て、地域の社会福祉協議会が注文をとりまとめる→注文をお店へ発注する→私たちヤマト運輸が配送し社会福祉協議会へ報告するという「まごころ宅急便（買い物支援＋見守り）」が生まれました。今でも印象に残っているのですが、あるおばあちゃんは、いつも買い物は近所の人をお願いしているのですが、この「まごころ宅急便」を利用したときバナナをたくさん注文しました。私は「なんでこんなにたくさんのバナナを？」と思ったのですが、このおばあちゃんはなんと、今まで買い物をお願いしていた方たちに配

り始めたんですよ。「今まで、ありがとう。」と言いながら。それをみて「まごころ宅急便」を始めてよかったと感じました。また、過疎地を抱える集配センターであっても、こうやって新たな宅急便が生まれ、地域に貢献できるメリットは大きかったと感じています。

さらなる安心を届ける

そんな「まごころ宅急便」を継続していくなかで、新しい課題に直面しました。それは、このサービスはお金を使うことができ、さらに自分で調理などを行える人しか受けることができないのではないかということでした。つまり地域の一部の方しかサポートできないということに気付き苛立ちを感じていました。そのころ、とある家電メーカーさんから「リコール家電の回収が出来ずに困っている」というお話をいただきました。例えば20年以上前に作られた石油ストーブ(型番〇〇ー123)を現在使用すると発火する恐れがあるため、家電メーカーは全て商品を回収しなければならないのです。しかし、どんなにTVや新聞に広告を出しても回収率はたったの0.0006%。そもそも告知媒体を見ない、理解できない「情報弱者」＝高齢者宅に潜んでいるのではないかというものでした。



地元で採用されたドライバーが配送しています

そのお話を聞き私は「これだ!」と思ったのです。リコール家電の調査・回収を請け負い、併せて見守りも行える。特定の方を見守る「まごころ宅急便」、そしていままで課題だった「地域一帯を見守る仕組み」が出来ると確信しました。

家電メーカーさんは現在の告知媒体にかけるより低コストに調査が行えて、地域の方は危険な商品を無料で返品・交換・修理をしてもらえます。私たちヤマト運輸は自治体と共に「地域の安心・安全を提供できる」まさに「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の「三方よし」と思いました。実際に活動を行ったところ当初の回収率0.0006%が2.3%にまで上昇し、倍率で表すと3800倍という驚異的な数字になりました。今後は、この活動を全国規模で行いたいと考えています。

産学官民で新しい活動を！

この「まごころ宅急便」は、1つの企業として成功できるものではありません。岩手県立大学、岩手県各地域の社会福祉協議会及び、地域にあるスーパーなどたくさんの人たちとの協働で成しえた事業と考えています。これからも一企業、一団体がバラバラに活動するのではなく、皆さんが持っている強みや活動で生まれるメリットを合わせた活動をしていきます。そして、

私たちヤマト運輸が持つ「物流網」という強みをどうぞ、ご活用ください。私たちも皆さんと助け合いながら、またお互いのメリットを活かせる活動を行っていきたいと考えています。そしてこれからもヤマト運輸は、皆さんのお宅に安心を届けてまいります。

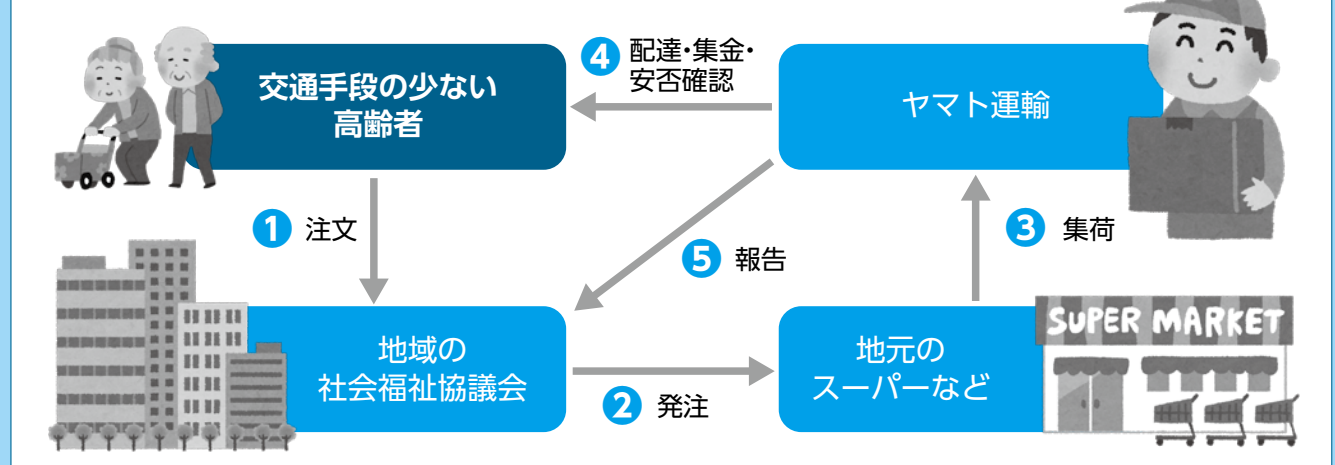
事業のポイント

地域に住んでいる高齢者が、移動手段の不足や体調不良などで買い物に行けず買い物難民になってしまうという課題を発見した。

- ①地域の社会福祉協議会は、課題を把握しているが、自分たちだけではその課題を解決できない。
- ②ヤマト運輸は、各家庭に配送するなかで不自然な点に気が付くが、どこに連絡をしていいのかわからない。
- ③地域の店舗は、売る商品はあるが高齢者に配送する手段がない。

そこで、お互いの強みである①情報②物流網③商品を組み合わせることで、移動手段の少ない高齢者を支えるシステム「まごころ宅急便」が生まれ、社会課題を解消しようとしています。

「まごころ宅急便」の仕組み



ヤマト運輸株式会社 岩手主管支店

住所：〒024-0014 岩手県北上市流通センター 17-3

TEL：0197-68-3828 FAX：0197-68-2863 URL：<http://www.kuronekoyamato.co.jp/>

岩手県からのお知らせ

「NPO法人いわて子育てネット」が仮認定NPO法人から認定NPO法人となりました！

○NPO法人いわて子育てネット

- ・代表者：理事長 村井 軍一
- ・住所：岩手県盛岡市大通二丁目7番20号ウエダビル3F
- ・電話：019-652-2910 FAX：019-652-9077
- ・法人設立目的：子育て全般の事業を行い、子育て環境向上に寄与することを目的とする。
- ・認定期間：平成26年8月25日～平成31年8月24日（5年間）



認定書交付の様子 NPO法人いわて子育てネット

これで県内の認定NPO法人は6法人、仮認定NPO法人は1法人となっています。

認定NPO法人制度を大いに活用し、復興支援や地域づくりなど、NPO活動を促進させましょう。

【認定NPO法人制度とは】

財政基盤が脆弱なNPO法人への寄附を促すもので、岩手県の認定を受けることにより、寄附をする側も受ける側も税制上のメリットを得ることができます。

◎認定NPO法人に関する相談は、認定NPO法人専門員までお気軽にご相談ください。

平日 午前9時～午後4時
（ただし金曜日は午後3時まで）
岩手県環境生活部若者女性協働推進室
〒020-8570 盛岡市内丸10-1 県庁11階
TEL：019-629-5199 FAX：019-629-5339
E-mail：AC0006@pref.iwate.jp

NPO 法人会計講座開催のお知らせ

NPO法人の運営に係る基礎講習会のお知らせ

NPO法人の運営に必要な基礎知識（総務・労務・会計等）を習得するための講習会を行いますのでふるってご参加下さい。（各日ともに13時～）

NPO法人の運営に係る基礎講習会	
10月10日(金)	奥州地区合同庁舎
10月17日(金)	二戸地区合同庁舎
11月14日(金)	久慈地区合同庁舎
11月21日(金)	宮古地区合同庁舎
12月 5日(金)	大船渡地区合同庁舎
12月19日(金)	北上地区合同庁舎
1月20日(火)	釜石地区合同庁舎
1月29日(木)	一関地区合同庁舎
2月13日(金)	盛岡市 アイーナ

NPO法人会計講座開催のお知らせ

NPO法人新会計基準とNPO会計と税務およびNPO会計ソフトの実技等を習得するための講座を行いますのでふるってご参加下さい。（各日ともに13時～）

NPO法人の会計講座	
10月23日(木)	宮古地区合同庁舎
11月 5日(水)	大船渡地区合同庁舎
12月12日(金)	二戸地区合同庁舎
1月16日(金)	花巻地区合同庁舎
2月26日(木)	奥州地区合同庁舎
3月 6日(金)	盛岡市 アイーナ

【お問合せ先・お申込先】

特定非営利活動法人シニアパワーいわて
中村(善)
TEL・FAX：019-626-0098
E-mail：zensyo.n@gmail.com

岩手県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センターからのお知らせ

【まちを知り 人とふれあい 笑顔に会おう 2014ボランティア体験inいわて開催中!!】

県内各地から体験プログラムを集め、7月から実施している「ボランティア体験inいわて」。参加した方々からは「実際に体験することで新しい発見があった」「楽しく参加できる工夫があり、1日の体験でたくさん学ぶことができた」などの声が寄せられています。

現在、小・中・高校生・親子で参加できるプログラムを新たに追加しています。もちろん、大人が参加できるプログラムもまだまだあります！

今年はぜひ「ボランティアの秋」を満喫しませんか？

《ボランティア活動のポイント その2》

前号に引き続き、今号でもボランティア活動に参加する上で、心にとめておきたい「心構え」と「原則」を紹介します。

心構え②：

責任を持って、相手の気持ちになって活動する

ボランティアといっても、行動や言葉には責任が伴います。

約束ごとは必ず守り、活動先で知った情報は、みだりに他の人にもらさないが必要です。当日、都合が悪く活動できなくなった場合は、事前に活動先へ連絡し了承を得ましょう。

また、ボランティア活動は、そのほとんどが人との関わりの中で行うものです。相手の気持ちを尊重し、相手とどう関わるのか考えることが大切です。自分の気持ちだけで動いてしまうことがないように注意しましょう。

原則②：

ともに支え合い、学び合う——「社会性・連帯性」

わたしたちの地域社会には、さまざまな人が暮らしていく上での「困りごと」や「もっと○○だったらいいな」と思うことが存在します。こうした課題を発見し、よりよい地域にしていくためには、一人ひとりが解決策を考えていくことと同時に、多くの人と協力し力を合わせて行動することが大切です。ボランティア活動には、そんな取組みのきっかけがたくさんあるんです。



特別なことではなく、ふだんの暮らしを豊かにするヒントが隠れているね

《NEW》体験プログラム：親子水泳ボランティア

〈活動期日・時間〉

平成26年9月28日(日) 10月5日(日) 10月19日(日)
各日ともに 11時00分～ 11時45分

〈活動内容〉親子水泳教室に参加する方への指導補助。

〈募集人数〉各日3人程度 親子で参加可

〈活動場所〉ふれあいランド岩手

〈申込み方法〉

直接、ふれあいランド岩手へお申込みください。

〈申込締切日〉活動日の1週間前まで

〈その他〉

- ・水着持参・親子でない場合は高校生以上の方
- ・活動時間の30分前までにお集まりください。

〈連絡先〉住所：〒020-0831

岩手県盛岡市三本柳8-1-3

TEL：019-637-4469 FAX：019-637-7544

〈担当〉佐藤 享子・佐々木 秀治

この他にも、複数のプログラムを追加しています。詳しくはホームページをご覧ください

⇒<http://iwate-volunteer.jp/>

【お問合せ先】岩手県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター

TEL：019-637-9711 FAX：019-637-7592

「ずっぱりボランティアいわて」

URL：<http://iwate-volunteer.jp/>

Q 役員の方は職員と同じように働いても、報酬を貰うことはできませんか？

A NPO法人の場合、副理事長や常任理事などの役員でも、労働者の性格が強く、理事長の指揮を受けている場合は、使用人兼務役員としての報酬を受け取ることが可能です。理事が経理などの事務に従事して、他の職員と同一基準で処遇されている場合は、給与手当として支給できます。

法人税法上の使用人兼務役員になれない場合、定期同額要件(支給額が事業年度を通じて原則同額であること)を満たすことが求められます。社会保険は管轄の年金事務所、雇用保険はハローワークで確認して下さい。



助成金情報

(公財)トヨタ財団 2014年度国内助成プログラム

【テーマ】「未来の担い手と創造する新しいコミュニティ 地域に開かれた仕事づくりを通じて」

【助成対象となるプロジェクト】

- ・地域で活動するNPO他の組織が地域の課題解決につながる担い手を育成するプロジェクト(研修プログラム、なりわい塾)
- ・未来の担い手が地域住民とともに、地域課題の解決につながる新たな仕事(組織や事業)の立ち上げに向けて実施するプロジェクト など

その他詳細は、下記URLをご確認ください。

<https://www.toyotafound.or.jp/>

【申請締め切り】 2014年10月31日(金)

【助成額】 1年間プロジェクト:上限300万円/件
2年間プロジェクト:上限600万円/件

株式会社フェリシモ 『とうほくIPPOプロジェクト』第4期募集

【対象となる活動】 東日本大震災による被災地(人々、街、産業)を元気にする事業活動

【対象者】

被災地の産業復興支援に貢献するアイデアと実行力を持つ女性※東北在住の個人・団体に限ります。

【支援金について】

原則として1対象につき30万円～最大300万円までを上限として支援金を支給します。

【お申込期限】

インターネット・FAXの場合

第4期：2014年10月31日(金)16:00

郵送の場合

第4期：2014年10月31日(金)(消印有効)

【お問合せ先・お申し込み先】

株式会社フェリシモ 本社広報グループ(吉川・中島)

TEL:078-325-5700 FAX:078-325-5725

E-mail: press@felissimo.co.jp



編集後記

今回取材させていただいた「NPO法人 イーハートブとりもと」さんのレトルトカレーを購入しました。おすすめのチキンカレーを開封すると大きい鶏肉が登場！柔らかい!!そして美味い!!!沿岸に行ったときのお土産がまた増えました♪

(担当 イハタ)

NPO活動交流センターのHPでは、様々なイベント情報や助成金情報を掲載しています。

皆さまからの情報や取材依頼もお寄せください!

URL: <http://www.aiinanpo.org/> E-mail: n-katsu@aiina.jp

アイーナ N活

検索

Twitter フォローお願いします!!!

<https://twitter.com/aiinaNPO>

Facebook いいねをお願いします!!!

<https://www.facebook.com/aiinaNPO>